

観光交流の促進

2

基本方針 01-観光資源の強化と創造による、観光振興のまちづくり

施策 1-観光の振興

● 現状と課題

秋芳洞の観光客数は減少しているものの、秋吉台への観光客は増加傾向にあります。しかしながら、地元産業への波及効果が十分に現れておらず、交通アクセスが不十分なことも影響して、市内の豊富な観光素材の有効利用ができていない状況にあります。

このため、観光の活性化にあたっては、秋吉台・秋芳洞を中心とした観光ルート・ネットワークの開発といった市内滞留時間延長のための基盤整備と民間活力の育成・導入が不可欠であり、近年の観光ニーズに対応した多面的な取組が必要となっています。

一方で、平成 17 年に秋吉台地下水系がラムサール条約*登録、近年のエコツーリズム*の推進など、その自然環境の保全が重要視されていることから、国定公園秋吉台、特別天然記念物秋芳洞を保有する本市における環境保全の取組を *Mine* 秋吉台ジオパーク構想*の推進とともに進めていく必要があります。

● 取組の方向

美祿市内への滞在時間延長につながる仕組みづくりを行い、インターネットやマスコミ媒体、漫画などを有効的に活用した情報発信や旅行社などへの積極的なプロモーション活動を実施していきます。また、秋吉台・秋芳洞の環境保全にも引き続き取り組んでいきます。

● 5年後の姿と目標指標

各観光資源をつなぐ観光ルートの確立と、交通アクセスの整備により、美祿市を回遊する交流人口が拡大し、その経済効果により地域産業が活性化しています。

観光と環境保全の調和が図られた姿が保たれています。

項目	現状値	目標値	備考
観光の振興に対する満足度	7.7% (H26)	15.0% (H31)	市民意識調査結果
観光客数	136 万人 (H25)	250 万人 (H31)	山口県観光動態調査

[ラムサール条約]「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」の通称。広く水辺の自然生態系を保全することを目的とする。登録対象となる区域は湿原のほか、湖・溪流・浅い海などの水域も含まれる。日本は 1980 年（昭和 55）に加盟。国際湿地条約。

[エコツーリズム] 自然環境や歴史文化を対象に、体験、学習し、地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方。

[*Mine* 秋吉台ジオパーク構想] 地域にある地質資源を知ること。そして、その価値をきちんと理解し保全することで、教育活動や地域振興に活用し、地域を活性化する取組。

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>観光振興の推進</p> <p>組織体制を充実させ、有用な資源を保全するとともに最大級の活用を行い、魅力の向上を図ります。また、観光地との連携を強固にし、美祢フィルムコミッションをはじめ、新しい情報発信体制のもと、交流人口の拡大を促進します。</p> <p>さらに、平成27年に明治維新の発祥となる「大田・絵堂戦役150年」を迎えることを契機に、平成30年の「明治維新」150年に向けて、本市の魅力、情報発信、認知度向上を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興計画推進事業 ・情報発信体制強化事業 ・観光推進体制強化事業
<p>体験型・着地型観光の推進</p> <p>観光形態の変化に伴う体験型ツアーのニーズに対応するため、体験型観光のインストラクターの養成を進めるとともに、各種の体験プログラムの開発とツアーの実施を促進します。</p> <p>また、旅行者ニーズの多様化に対応し、地域振興につなげるため、秋吉台を活用した着地型観光を推進します。このため、観光協会など関係団体との連携強化を図り、受け皿となる組織づくりを推進するとともに、空き家を活用した民泊の担い手確保や魅力ある観光メニューを充実します。</p> <p>さらに、自転車による広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進することで、自転車ならではの観光スタイルを創出し、体験型観光の拡大を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム開発事業 ・秋吉台トレイル推進事業 ・空き家を活用した民泊等担い手の確保・養成事業 <p>【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード整備事業
<p>交流人口の拡大</p> <p>既存イベントの充実に併せて、新たなイベントにも積極的に支援を実施するとともに、関係団体と連携し、効果的なイベントへの観光PRブースの設置など誘客活動を推進します。</p>	<p>【商工労働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口拡大事業 <p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催事業
<p>交通アクセスの整備</p> <p>JR新山口駅などの主要駅や山口宇部空港などから市内観光地、また市内観光地間の周遊など、団体・個人観光客のニーズに合った交通2次アクセス*などの確保・整備を進めます。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内交通充実・強化事業
<p>秋吉台国定公園の保全</p> <p>市民の最も誇れるものであり、美祢市観光の基幹である秋吉台国定公園の環境保全と活用に取り組みます。</p>	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラムサール条約登録水系保全事業

[交通2次アクセス] 空港や鉄道の駅、港などの交通拠点から観光目的地までの交通のこと。

具体施策	主要事業
<p>観光施設の整備</p> <p>秋芳洞内の施設などの老朽化した観光設備については、新たな財政計画の基で計画的な改修を行い、観光客の受入環境の向上を図ります。</p>	<p>【観光総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設改修事業
<p>的確な情報の発信</p> <p>情報の提供環境として、観光地における効果的で質の高いデジタル情報を提供可能とするため、情報收受の主流となるタブレット端末に対応した受信環境の整備を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなコンテンツを活用した情報発信事業 ・観光地エリア Wi-Fi[*]環境整備事業

● 協働のまちづくり

特徴のある観光資源を豊富に有していることに誇りを持ち、これらの資源を活かした地域の活性化を支援します。

■美祢ランタンナイトフェスティバル



■秋吉台カルストウォーク



[Wi-Fi] 無線 LAN 機能を持つ情報機器について、その相互接続性を保証するブランドのこと。

■ 秋吉台



■ 秋芳洞



基本方針 02-広域連携の強化による、交流拡大のまちづくり

施策 1-国際交流の推進

● 現状と課題

本市は、中国山東省棗莊（ナツメシヨウ）市と友好都市交流協力協定、台湾南投県及び水里郷と友好交流の促進に関する確認書を締結し、また、一般社団法人美祢市観光協会と台湾の野柳地質公園の管理運営企業である新空間国際有限公司は、観光・学術交流促進確認書を締結しており、相互訪問などを通じて国際交流を進めるとともに、市内中学生を海外に派遣し、国際感覚を身に付けた人材の育成に取り組んでいます。

また、平成24年度に開所した台北観光・交流事務所を拠点に、特に台湾からの外国人観光客の誘客に取り組んでおり、外国人観光客の秋芳洞入洞者数は伸びていますが、本市単独での取組には限りがあり、更なる誘客を図るためには、周辺観光地との連携した取組による相乗効果を上げる必要があります。

今後についても、観光の国際化が進んだ今日では、海外に目を向ける必要があり、台湾・韓国をはじめ東アジアを中心とした海外との観光のみならず、教育・学術など多岐にわたった交流に力を入れるといった国際交流などへの取組が求められます。

● 取組の方向

観光の国際化を踏まえ海外への積極的な情報発信を行い、県や観光交流パートナー協議会との連携や台湾・韓国をはじめとする東アジアとの観光交流により、海外観光客の増加を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

友好都市交流事業などの推進により、国内外からの観光交流が活発化しています。

項目	現状値	目標値	備考
地域間交流・国際交流の推進に対する満足度	5.8% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
外国人観光客	38,039人 (H25)	70,000人 (H31)	山口県観光動態調査

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>国際交流の推進</p> <p>中国山東省棗莊市との友好都市交流協力協定や台湾南投県及び水里郷との友好交流促進確認書などに基づく人的交流などを実施し、地域レベルでの国際交流を推進します。</p> <p>また、市民海外研修などの事業により、異文化とのふれあいや国際感覚を持つひとづくりを推進します。</p>	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流推進事業 ・ 友好都市交流事業 ・ ふるさと人材育成事業
<p>東アジアを中心とした国際交流の推進</p> <p>観光の国際化を踏まえ、外国人観光客の受入体制の整備を進めるとともに、県との連携による海外への積極的な情報発信やツアーの誘致を行い、海外観光客の増加を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外情報発信事業 ・ 外国人観光客受入体制充実事業

● 協働のまちづくり

異文化の理解を深め、外国の方と交流します。

■美祢市 水里郷 友好交流促進確認書締結式



■於福中学校・水里國民中學「姉妹校宣言」調印式



基本方針 02-広域連携の強化による、交流拡大のまちづくり

施策 2-広域観光連携・地域間交流の推進

● 現状と課題

本市では、県全域での観光連携に加えて、長州路、ながと路及び観光交流パートナー協議会といった広域観光ルートにおいて、周辺地域の観光資源との連携による観光交流の拡大を図っています。

また、地域特有の産業（工場、職人、製品や産業遺構など）を観光資源とした産業観光の取組についても宇部・美祢・山陽小野田地域で連携して進めています。

今後も広域観光連携区域の拡大を図るとともに、既存の連携体制を強化し、広域観光メニューづくりなど、周遊観光の推進施策の展開が求められます。

また、他地域との交流の促進やグリーンツーリズムの推進を図る必要があります。

● 取組の方向

周辺観光地との連携をより強化し、多様な観光ニーズに対応するとともに、広域での観光交流人口の拡大を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

広域観光の受け入れ体制が充実し、滞在型の観光客などが増加しています。

項目	現状値	目標値	備考
地域間交流・国際交流の推進に対する満足度	5.8% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
広域観光連携の推進の満足度	5.0% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
イベント回数	15回 (H25)	20回 (H31)	

● 具体施策の展開

施策具体	主要事業
<p>広域連携による観光交流の推進</p> <p>周辺観光資源との連携による観光コースや体験メニューの開発など、既存の連携体制を強化するとともに、主要温泉地との広域観光連携を推進し、国内外における観光交流の拡大を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊を含めた周辺観光地連携強化事業 ・ 産業観光推進事業 ・ ながと路・長州路・山口パートナー連携強化事業
<p>地域間交流の推進</p> <p>新たな発想や情報収集のため特性の違う他地域との交流を行い、相互のイベント交流やPRなどを実施します。</p> <p>また、ふるさと交流大使の活動やテレビ・ラジオの公開番組誘致により、他地域への本市のPRを積極的に行います。</p>	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと交流大使活動事業 ・ 公開番組実施事業
<p>都市と農村交流事業の推進</p> <p>地域住民と地域間交流を目的として設置された施設において、民間活力を活用しグリーンツーリズム*の推進を図ることにより、交流人口の増加を図ります。</p>	<p>【農林課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市と農村交流施設運営事業

● 協働のまちづくり

広域観光を推進するため、市内外の友人・知人などへ美祢市のPRを行います。地域間の交流に積極的に参加します。

■ 観光交流パートナー締結式



[グリーンツーリズム] 農村や漁村での長期滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動のこと。

基本方針 03-観光産業の育成による、おもてなしのまちづくり

施策 1-観光産業の育成

● 現状と課題

国のビジットジャパン*やインバウンド（訪日外国人旅行者）政策が展開されるなか、全国の観光地においては、観光客誘致の激化により、以前の団体観光を主体とした観光地が衰退している現状があり、観光事業者も様々な業態の展開が求められています。

また、観光客のニーズも個別志向、体験志向へ移行している中で、農山村や地域をクローズアップした新たな観光ニーズも生まれており、地域資源や特色を活かしたツーリズムの展開が求められています。

本市においても、これまでの秋吉台・秋芳洞を中心とした、物見遊山的な観光客は減少する中、地域資源を新たな視点で活用していく、「使える国定公園」として秋吉台の新しい活用を図る必要があります。

■ 取組の方向

市内及び市外も含め、多方面多分野の関係者の連携を強化し、地域の資源や特性を活かした観光サービスや商品提供により、観光産業の活性化を図り、観光客の満足度を高める取組を継続的・発展的に展開します。

● 5年後の姿と目標指標

各観光関連の事業者の連携と協力により、地域資源を活かした体験・周遊の観光が市内の各所で展開され、観光客が満足できるサービスの提供とおもてなしにより、観光客の増加と滞在時間が延長され、リピーターが増加しています。

項目	現状値	目標値	備考
観光サービス産業の育成に対する満足度	3.2% (H26)	4.5% (H31)	市民意識調査結果

[ビジットジャパン] 外国人旅行者の訪日を飛躍的に拡大させることを目的に、国土交通省が中心となり、国と地方公共団体、民間が共同で取り組んでいるキャンペーンの総称。将来的には訪日外国人旅行者の数を3,000万人とすることを目標とし、2016年までに1,800万人、2020年まで2,500万人の目標を掲げている。

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>地域資源を活かした観光ストーリーの構築</p> <p>市内にある歴史や自然、空き店舗など地域資源を活用し、健康・美容・癒しなどの観光客のニーズに応じたテーマやストーリーを構築して、観光ルートの開発や商品づくり、各事業者での連携を展開し、本市独自の観光誘客を展開します。</p> <p>また、観光客に周遊していただくため、各市内観光事業者と、旅行代理事業者や交通事業者の連携による、各種周遊メニュー開発や移動手段の強化を図り、市内回遊の強化を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別観光ルート作成事業 ・滞在時間延長の仕組みづくり事業

● 協働のまちづくり

郷土料理や地域資源の掘り起こしなどに協力し、地域の良さを見直します。
美祢市の食や特産を理解し、観光客に紹介して美祢市のファンづくりに貢献します。



基本方針 03-観光産業の育成による、おもてなしのまちづくり

施策 2-おもてなしの向上

● 現状と課題

現在の観光では、観光資源を見たり体験するだけでなく、地域住民とのふれあいも大切な要素となっています。

本市においては、秋吉台などの一部施設について観光ボランティアガイドが活躍していますが、その他の観光資源においては、観光ガイドなどのおもてなしが不足しています。また、市民が観光資源を含めた地域資源の理解を深め、地域に誇りと愛着をもつことが重要となっています。

このため、豊富な観光資源を有する本市として、訪れる人を「もてなす」ことによって、リピーターの確保や滞在時間の延長、交流人口の拡大が求められます。

また、多くの観光客に対応し、満足感を与えるためには、市民一人ひとりがおもてなしの心をもつことが求められます。

これらのことから、「おもてなしのまち美祢観光振興条例」に沿って、市民が一体となり本市の顔となるようなおもてなし意識の構築を図ることが必要となっています。

● 取組の方向

本市の大きな産業の一つである観光を通じて市の活性化を図っていくために、「おもてなしのまち美祢観光振興条例」や *Mine* 秋吉台ジオパーク構想の周知を行い、市民のおもてなし意識の向上を行い、観光市民ボランティアの育成にも力を入れ、観光客に対する更なるおもてなしの拡大を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

観光ボランティアやガイドが多く活躍し、訪れる人々をもてなしています。これらの効果により、リピーターが増え、地域の雇用が経済の活性化につながっています。

項目	現状値	目標値	備考
おもてなしの育成に対する満足度	3.7% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
ボランティア登録者数	17人 (H25)	25人 (H31)	

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>参画と協働の観光地づくり</p> <p>市民が観光資源を知り、観光振興に関わる市民の増加を図ることにより、市民一人ひとりがおもてなし意識を醸成できる環境づくりを行います。</p> <p>また、観光客のニーズに応え、新たな観光ルートを開拓するため、市内の観光資源を総合的にガイドできる観光ボランティアガイドと環境保全に取り組む環境ボランティアを広く市民から求め、市の基幹産業である観光の更なる振興を進めます。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし意識醸成事業 ・観光ボランティアガイド養成事業

● 協働のまちづくり

市民みんなで、おもてなしの心をもって観光客に接します。
ふるさとの知識を深め、美祢市の魅力をPRします。

■ 観光ボランティアガイド



基本方針 01-観光資源の強化と創造による、観光振興のまちづくり

施策 1-観光の振興

● 現状と課題

秋芳洞の観光客数は減少しているものの、秋吉台への観光客は増加傾向にあります。しかしながら、地元産業への波及効果が十分に現れておらず、交通アクセスが不十分なことも影響して、市内の豊富な観光素材の有効利用ができていない状況にあります。

このため、観光の活性化にあたっては、秋吉台・秋芳洞を中心とした観光ルート・ネットワークの開発といった市内滞留時間延長のための基盤整備と民間活力の育成・導入が不可欠であり、近年の観光ニーズに対応した多面的な取組が必要となっています。

一方で、平成 17 年に秋吉台地下水系がラムサール条約*登録、近年のエコツーリズム*の推進など、その自然環境の保全が重要視されていることから、国定公園秋吉台、特別天然記念物秋芳洞を保有する本市における環境保全の取組を *Mine* 秋吉台ジオパーク構想*の推進とともに進めていく必要があります。

● 取組の方向

美祿市内への滞在時間延長につながる仕組みづくりを行い、インターネットやマスコミ媒体、漫画などを有効的に活用した情報発信や旅行社などへの積極的なプロモーション活動を実施していきます。また、秋吉台・秋芳洞の環境保全にも引き続き取り組んでいきます。

● 5 年後の姿と目標指標

各観光資源をつなぐ観光ルートの確立と、交通アクセスの整備により、美祿市を回遊する交流人口が拡大し、その経済効果により地域産業が活性化しています。

観光と環境保全の調和が図られた姿が保たれています。

項目	現状値	目標値	備考
観光の振興に対する満足度	7.7% (H26)	15.0% (H31)	市民意識調査結果
観光客数	136 万人 (H25)	250 万人 (H31)	山口県観光動態調査

[ラムサール条約]「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」の通称。広く水辺の自然生態系を保全することを目的とする。登録対象となる区域は湿原のほか、湖・溪流・浅い海などの水域も含まれる。日本は 1980 年（昭和 55）に加盟。国際湿地条約。

[エコツーリズム] 自然環境や歴史文化を対象に、体験、学習し、地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方。

[*Mine* 秋吉台ジオパーク構想] 地域にある地質資源を知ること。そして、その価値をきちんと理解し保全することで、教育活動や地域振興に活用し、地域を活性化する取組。

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>観光振興の推進</p> <p>組織体制を充実させ、有用な資源を保全するとともに最大級の活用を行い、魅力の向上を図ります。また、観光地との連携を強固にし、美祢フィルムコミッションをはじめ、新しい情報発信体制のもと、交流人口の拡大を促進します。</p> <p>さらに、平成27年に明治維新の発祥となる「大田・絵堂戦役150年」を迎えることを契機に、平成30年の「明治維新」150年に向けて、本市の魅力、情報発信、認知度向上を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興計画推進事業 ・情報発信体制強化事業 ・観光推進体制強化事業
<p>体験型・着地型観光の推進</p> <p>観光形態の変化に伴う体験型ツアーのニーズに対応するため、体験型観光のインストラクターの養成を進めるとともに、各種の体験プログラムの開発とツアーの実施を促進します。</p> <p>また、旅行者ニーズの多様化に対応し、地域振興につなげるため、秋吉台を活用した着地型観光を推進します。このため、観光協会など関係団体との連携強化を図り、受け皿となる組織づくりを推進するとともに、空き家を活用した民泊の担い手確保や魅力ある観光メニューを充実します。</p> <p>さらに、自転車による広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進することで、自転車ならではの観光スタイルを創出し、体験型観光の拡大を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム開発事業 ・秋吉台トレイル推進事業 ・空き家を活用した民泊等担い手の確保・養成事業 <p>【建設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード整備事業
<p>交流人口の拡大</p> <p>既存イベントの充実に併せて、新たなイベントにも積極的に支援を実施するとともに、関係団体と連携し、効果的なイベントへの観光PRブースの設置など誘客活動を推進します。</p>	<p>【商工労働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口拡大事業 <p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催事業
<p>交通アクセスの整備</p> <p>JR新山口駅などの主要駅や山口宇部空港などから市内観光地、また市内観光地間の周遊など、団体・個人観光客のニーズに合った交通2次アクセス*などの確保・整備を進めます。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内交通充実・強化事業
<p>秋吉台国定公園の保全</p> <p>市民の最も誇れるものであり、美祢市観光の基幹である秋吉台国定公園の環境保全と活用に取り組みます。</p>	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラムサール条約登録水系保全事業

[交通2次アクセス] 空港や鉄道の駅、港などの交通拠点から観光目的地までの交通のこと。

具体施策	主要事業
<p>観光施設の整備</p> <p>秋芳洞内の施設などの老朽化した観光設備については、新たな財政計画の基で計画的な改修を行い、観光客の受入環境の向上を図ります。</p>	<p>【観光総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設改修事業
<p>的確な情報の発信</p> <p>情報の提供環境として、観光地における効果的で質の高いデジタル情報を提供可能とするため、情報收受の主流となるタブレット端末に対応した受信環境の整備を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなコンテンツを活用した情報発信事業 ・観光地エリア Wi-Fi*環境整備事業

● 協働のまちづくり

特徴のある観光資源を豊富に有していることに誇りを持ち、これらの資源を活かした地域の活性化を支援します。

■美祢ランタンナイトフェスティバル



■秋吉台カルストウォーク



[Wi-Fi] 無線 LAN 機能を持つ情報機器について、その相互接続性を保証するブランドのこと。

■ 秋吉台



■ 秋芳洞



基本方針 02-広域連携の強化による、交流拡大のまちづくり

施策 1-国際交流の推進

● 現状と課題

本市は、中国山東省棗荘（ナツメシヨウ）市と友好都市交流協力協定、台湾南投県及び水里郷と友好交流の促進に関する確認書を締結し、また、一般社団法人美祢市観光協会と台湾の野柳地質公園の管理運営企業である新空間国際有限公司は、観光・学術交流促進確認書を締結しており、相互訪問などを通じて国際交流を進めるとともに、市内中学生を海外に派遣し、国際感覚を身に付けた人材の育成に取り組んでいます。

また、平成24年度に開所した台北観光・交流事務所を拠点に、特に台湾からの外国人観光客の誘客に取り組んでおり、外国人観光客の秋芳洞入洞者数は伸びていますが、本市単独での取組には限りがあり、更なる誘客を図るためには、周辺観光地との連携した取組による相乗効果を上げる必要があります。

今後についても、観光の国際化が進んだ今日では、海外に目を向ける必要があり、台湾・韓国をはじめ東アジアを中心とした海外との観光のみならず、教育・学術など多岐にわたった交流に力を入れるといった国際交流などへの取組が求められます。

● 取組の方向

観光の国際化を踏まえ海外への積極的な情報発信を行い、県や観光交流パートナー協議会との連携や台湾・韓国をはじめとする東アジアとの観光交流により、海外観光客の増加を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

友好都市交流事業などの推進により、国内外からの観光交流が活発化しています。

項目	現状値	目標値	備考
地域間交流・国際交流の推進に対する満足度	5.8% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
外国人観光客	38,039人 (H25)	70,000人 (H31)	山口県観光動態調査

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>国際交流の推進</p> <p>中国山東省棗莊市との友好都市交流協力協定や台湾南投県及び水里郷との友好交流促進確認書などに基づく人的交流などを実施し、地域レベルでの国際交流を推進します。</p> <p>また、市民海外研修などの事業により、異文化とのふれあいや国際感覚を持つひとづくりを推進します。</p>	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流推進事業 ・ 友好都市交流事業 ・ ふるさと人材育成事業
<p>東アジアを中心とした国際交流の推進</p> <p>観光の国際化を踏まえ、外国人観光客の受入体制の整備を進めるとともに、県との連携による海外への積極的な情報発信やツアーの誘致を行い、海外観光客の増加を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外情報発信事業 ・ 外国人観光客受入体制充実事業

● 協働のまちづくり

異文化の理解を深め、外国の方と交流します。

■美祢市 水里郷 友好交流促進確認書締結式



■於福中学校・水里國民中學「姉妹校宣言」調印式



基本方針 02-広域連携の強化による、交流拡大のまちづくり

施策 2-広域観光連携・地域間交流の推進

● 現状と課題

本市では、県全域での観光連携に加えて、長州路、ながと路及び観光交流パートナー協議会といった広域観光ルートにおいて、周辺地域の観光資源との連携による観光交流の拡大を図っています。

また、地域特有の産業（工場、職人、製品や産業遺構など）を観光資源とした産業観光の取組についても宇部・美祢・山陽小野田地域で連携して進めています。

今後も広域観光連携区域の拡大を図るとともに、既存の連携体制を強化し、広域観光メニューづくりなど、周遊観光の推進施策の展開が求められます。

また、他地域との交流の促進やグリーンツーリズムの推進を図る必要があります。

● 取組の方向

周辺観光地との連携をより強化し、多様な観光ニーズに対応するとともに、広域での観光交流人口の拡大を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

広域観光の受け入れ体制が充実し、滞在型の観光客などが増加しています。

項目	現状値	目標値	備考
地域間交流・国際交流の推進に対する満足度	5.8% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
広域観光連携の推進の満足度	5.0% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
イベント回数	15回 (H25)	20回 (H31)	

● 具体施策の展開

施策具体	主要事業
<p>広域連携による観光交流の推進</p> <p>周辺観光資源との連携による観光コースや体験メニューの開発など、既存の連携体制を強化するとともに、主要温泉地との広域観光連携を推進し、国内外における観光交流の拡大を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊を含めた周辺観光地連携強化事業 ・ 産業観光推進事業 ・ ながと路・長州路・山口パートナー連携強化事業
<p>地域間交流の推進</p> <p>新たな発想や情報収集のため特性の違う他地域との交流を行い、相互のイベント交流やPRなどを実施します。</p> <p>また、ふるさと交流大使の活動やテレビ・ラジオの公開番組誘致により、他地域への本市のPRを積極的に行います。</p>	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと交流大使活動事業 ・ 公開番組実施事業
<p>都市と農村交流事業の推進</p> <p>地域住民と地域間交流を目的として設置された施設において、民間活力を活用しグリーンツーリズム*の推進を図ることにより、交流人口の増加を図ります。</p>	<p>【農林課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市と農村交流施設運営事業

● 協働のまちづくり

広域観光を推進するため、市内外の友人・知人などへ美祢市のPRを行います。地域間の交流に積極的に参加します。

■ 観光交流パートナー締結式



[グリーンツーリズム] 農村や漁村での長期滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動のこと。

基本方針 03-観光産業の育成による、おもてなしのまちづくり

施策 1-観光産業の育成

● 現状と課題

国のビジットジャパン*やインバウンド（訪日外国人旅行者）政策が展開されるなか、全国の観光地においては、観光客誘致の激化により、以前の団体観光を主体とした観光地が衰退している現状があり、観光事業者も様々な業態の展開が求められています。

また、観光客のニーズも個別志向、体験志向へ移行している中で、農山村や地域をクローズアップした新たな観光ニーズも生まれており、地域資源や特色を活かしたツーリズムの展開が求められています。

本市においても、これまでの秋吉台・秋芳洞を中心とした、物見遊山的な観光客は減少する中、地域資源を新たな視点で活用していく、「使える国定公園」として秋吉台の新しい活用を図る必要があります。

■ 取組の方向

市内及び市外も含め、多方面多分野の関係者の連携を強化し、地域の資源や特性を活かした観光サービスや商品提供により、観光産業の活性化を図り、観光客の満足度を高める取組を継続的・発展的に展開します。

● 5年後の姿と目標指標

各観光関連の事業者の連携と協力により、地域資源を活かした体験・周遊の観光が市内の各所で展開され、観光客が満足できるサービスの提供とおもてなしにより、観光客の増加と滞在時間が延長され、リピーターが増加しています。

項目	現状値	目標値	備考
観光サービス産業の育成に対する満足度	3.2% (H26)	4.5% (H31)	市民意識調査結果

[ビジットジャパン] 外国人旅行者の訪日を飛躍的に拡大させることを目的に、国土交通省が中心となり、国と地方公共団体、民間が共同で取り組んでいるキャンペーンの総称。将来的には訪日外国人旅行者の数を3,000万人とすることを目標とし、2016年までに1,800万人、2020年まで2,500万人の目標を掲げている。

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>地域資源を活かした観光ストーリーの構築</p> <p>市内にある歴史や自然、空き店舗など地域資源を活用し、健康・美容・癒しなどの観光客のニーズに応じたテーマやストーリーを構築して、観光ルートの開発や商品づくり、各事業者での連携を展開し、本市独自の観光誘客を展開します。</p> <p>また、観光客に周遊していただくため、各市内観光事業者と、旅行代理事業者や交通事業者の連携による、各種周遊メニュー開発や移動手段の強化を図り、市内回遊の強化を図ります。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別観光ルート作成事業 ・滞在時間延長の仕組みづくり事業

● 協働のまちづくり

郷土料理や地域資源の掘り起こしなどに協力し、地域の良さを見直します。
美祢市の食や特産を理解し、観光客に紹介して美祢市のファンづくりに貢献します。



基本方針 03-観光産業の育成による、おもてなしのまちづくり

施策 2-おもてなしの向上

● 現状と課題

現在の観光では、観光資源を見たり体験するだけでなく、地域住民とのふれあいも大切な要素となっています。

本市においては、秋吉台などの一部施設について観光ボランティアガイドが活躍していますが、その他の観光資源においては、観光ガイドなどのおもてなしが不足しています。また、市民が観光資源を含めた地域資源の理解を深め、地域に誇りと愛着をもつことが重要となっています。

このため、豊富な観光資源を有する本市として、訪れる人を「もてなす」ことによって、リピーターの確保や滞在時間の延長、交流人口の拡大が求められます。

また、多くの観光客に対応し、満足感を与えるためには、市民一人ひとりがおもてなしの心をもつことが求められます。

これらのことから、「おもてなしのまち美祢観光振興条例」に沿って、市民が一体となり本市の顔となるようなおもてなし意識の構築を図ることが必要となっています。

● 取組の方向

本市の大きな産業の一つである観光を通じて市の活性化を図っていくために、「おもてなしのまち美祢観光振興条例」や *Mine* 秋吉台ジオパーク構想の周知を行い、市民のおもてなし意識の向上を行い、観光市民ボランティアの育成にも力を入れ、観光客に対する更なるおもてなしの拡大を図ります。

● 5年後の姿と目標指標

観光ボランティアやガイドが多く活躍し、訪れる人々をもてなしています。これらの効果により、リピーターが増え、地域の雇用が経済の活性化につながっています。

項目	現状値	目標値	備考
おもてなしの育成に対する満足度	3.7% (H26)	10.0% (H31)	市民意識調査結果
ボランティア登録者数	17人 (H25)	25人 (H31)	

● 具体施策の展開

具体施策	主要事業
<p>参画と協働の観光地づくり</p> <p>市民が観光資源を知り、観光振興に関わる市民の増加を図ることにより、市民一人ひとりがおもてなし意識を醸成できる環境づくりを行います。</p> <p>また、観光客のニーズに応え、新たな観光ルートを開拓するため、市内の観光資源を総合的にガイドできる観光ボランティアガイドと環境保全に取り組む環境ボランティアを広く市民から求め、市の基幹産業である観光の更なる振興を進めます。</p>	<p>【観光振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし意識醸成事業 ・観光ボランティアガイド養成事業

● 協働のまちづくり

市民みんなで、おもてなしの心をもって観光客に接します。
ふるさとの知識を深め、美祢市の魅力をPRします。

■ 観光ボランティアガイド



